

空手の合宿

四年 菊地さん

ぼくは、空手を始めて二年になります。今の帯の色は黄色です。今まで四回しんさ会を受けて、すべて合かくしています。次のしんさ会のためにも、早く型を覚えて、ぜっ対に合かくしたいと思い、今年の夏休みは、空手の合宿にさんかすることにしました。

一日目の練習は、黄色帯から黒帯まで百人くらいで練習しました。こんなにたくさんの人が集まって練習するのは初めてだったので、とてもきんちようしました。主に、基本げいこと、あいさつをしました。暑くて汗びっしよりになりながら、がんばって練習しました。初めて、しはんのけいこを受けました。

しはんは、

「いつもの基本練習が大事だ。」

と言いつつ、何度も何度も基本げいこと、あいさつの練習をしました。しはんのけいこは、ぼくがいつも習っている先生よりも、きびしく、

とてもつかれましたが、今まで、まちがって覚えてしまったところに、気付くことができたので、良かったです。休けい時間には、アイスを三本もらいました。とても冷たくて、暑さと練習のきびしさで、とてもつかれていたので、まるで、地ごくから天国に来たような気持ちになりました。あんなに美味しいと思ったアイスは、今までありません。

二日目は、型の練習をしました。一日目とはちがい、グループに分かれて練習をしました。茶帯の高校生の先ぱいが、細かいところまで、ていねいに教えてくれました。先ぱいの教え方はとても分かりやすく、勉強になりました。特に、「こしを下げると、かっこよく見えるよ。」と、教えてくれたことが印しように残りました。それから、三十人組手をしました。組手とは、試合のように、一対一で技をかけ合うことです。それを三十人続けて行います。ぼく

は、二十人の時に、つかれがピークになり、
とてもつらかったけど、やる気をふりしぼっ
て、最後までがんばりました。あごに、相手
のパンチを受けた時は、いたくていたくて泣
きそうになってしまいました。いつもの練習
では、なかなか三十人組手をする機会がない
ので、とても良い練習になりました。合宿に
一しよに参加した友達は、
「つかれたけど、夜ごはんが楽しみ。」
と言っていました。

ぼくが、空手の合宿にさんかしたのは、次
のしんさ会で合かくするという以外に、もう
一つ理由がありました。それは、友達ともつ
と友情を深めたいと思ったからです。きつい
練習が終わったあとは、宿泊先のホテルで、
夢のような時間をすごすことができました。
夜ごはんは、バイキングでした。ぼくは焼き
そばをたくさん食べました。ソースのいい香
りがして、いつも食べている焼きそばよりも
とてもおいしく感じました。友達は、シユウ

マイを十個くらい食べていました。その後もみんなでお風呂に入って、水をかけ合って遊び、笑い合いました。一番楽しかったことは夜にみんなで売店に行き、カップラーメンを買って食べたことです。友達が、「みんなで食べるとおいしい。」と言っていていました。ぼくも、夜にみんなで食べるカップラーメンは特別に美味しいと感じました。

そして最終日は、全員で泊まった部屋のかたづけをしました。合宿では、自分のことはすべて自分でやらなくてはいけません。けいこも大変だったけど、それもとても大変だと感じました。いつも、当たり前前のようにお世話をしてくれるお母さんの大変さやありがたさが分かりました。

合宿では、空手が上達したただけではなく、友達との友情を深めたり、家族への感しやの気持ちに気付けたりしました。練習は、つらかったけど、とても良い経験になりました。

